

キャラクター名

ユウリ・サロウ

プレイヤー名

種族	エルフ	種族特徴	暗視、剣の加護/優しき水		
生まれ	神官	性別	女	年齢	17歳
冒険者Lv	12	経歴	家族に異種族がいる (A2-4)		
経験点	0		両親に愛されて育った(A4-4)		
			家族に魔法使いがいた(C4-1)		

技	9	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	2	6		17	2	ブリスト/怒雪の女神アルガ=ラル	10		
	5	敏捷度	2	6		17	2	フェアリーティマー	12		
		筋力	3	6		14	2	エンハンサー	6		
心	12	生命力	5	6		16	2	アルケミスト	2		
		知力	12	30		54 + 1	9	ライダー	10		
		精神力	5	26		43 + 2	7	ウォーリーダー	3		

戦闘特技				言語			会話	読文
ルーンマスター				エルフ語			○	○
魔法拡大/数				交易共通語			○	○
ターゲットィング				魔動機文明語			○	○
魔法収束				妖精語			○	
魔法制御								
魔力強化								
ダブルキャスト								

練技/呪歌/騎芸/賦術		
ビートルスキン	獅子奮迅	
ストロングブラッド	瞬時魔法指示	
メディテーション	ヒールスプレー	
アンチボディ	バークメール	
スフィンクスノレッジ	陣率：軍師の知略	
ワイドウィング	神展の構え	
遠隔指示	怒涛の攻陣Ⅱ：旋風	
探索指令		
騎獣の献身		
HP強化		
特殊能力解放		
魔法指示		
魔法指示回数増加		
HP超強化		

技能	技能 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク			筋力	回避力	防護点
鎧	錯乱のコンバットメイドスーツ		10	1	0		
盾	重い唸るマナタイト加工のアステリアの守り		11	-	4		
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)							
回避技能						合計値	1 4

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
レイピア いわゆる儀仗	1H	8	-	2d+ 0	10	0	8										
難しいソリッドヒール アビス強化1段階(魔法による回復量+1)	1H#	5	-1	2d+ -1	11	0	15										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	17 m	51 m	2d+ 1	4	52	神聖魔法	10	22	妖精魔法	12	24
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP							
2d+ 19/×	2d+ 13	2d+ 14	2d+ 19	111							

装備品		説明
頭	スカベンジャーの帽子	出目13以上の戦利品を設定された敵への行為判定や戦利品ロールを1度だけ+2
耳	ラル=ヴェイネの金鎖	その他部位追加
顔	宝石ケース	妖精使いの宝石を4つまで収納可能
首	ラル=ヴェイネの魔宝帯	1度の主動作でMPを10点以上消費したとき、直後にHP10点回復
背中	携帯神殿(怒雪の女神アルガ=ラル)	聖印として扱う 影響量外のMP上昇を無視 1日1回のみ特殊神聖魔法のMP消費無制限(拡大不可)
右手	知性の指輪	知力+1 破壊すると+13
腰	補充の矢筒	MP「3」点消費して補助動作で所持品から矢・太矢を補充可
足	ラル=ヴェイネのダウソルッカー	魔力+1 常に足場が悪い(行動判定-2)
その他カトレアの花冠		妖精魔法の射程+10m

装備品		説明
左手	ラル=ヴェイネのマナリソグ	魔法の発動体として扱う 魔法ダメージ+2
	奇跡の首飾り	破壊すると生死判定を振り直せる

その他メモ	自動失敗 チェック
冒険に出た理由表：他に生き方がなくて(5-6)	□□□□⑤
経歴まわり：双子の兄のナイトメアがいた。 父は特に治癒魔法に優れた妖精使いで、一命を取り留めた母とともに、慈愛を以てふたりを育てあげてくれた。 兄はかの恩讐の女神の啓示を賜ったそうで、神官戦士としてカルバタルの軍服に袖を通した。 その背中を追いかけてようとしたのは、殆ど当然のような感覚だった。 雑用係を抜け出せるのはいつになろうかという頃のこと。両親は戦火に吞まれ、兄も先の大戦に散った。 何も考えられないまま、辛うじて回収できたごくわずかな装具の中にあった、組み合わせた手の形の聖印を拾い上げる。	□□□□⑩ □□□□⑮ □□□□⑳ □□□□㉕ □□□□㉙ □□□□㉚
――報いよ、と。なにものかにそう、命じられたような気がした。	□□□□㉞

